

# 飼料穀物備蓄

【令和7年度予算概算決定額 1,760 (1,820) 百万円の内数】

## <対策のポイント>

不測の事態に備えて、配合飼料製造業者等が自ら策定している事業継続計画（BCP）等に基づき実施する飼料穀物・飼料作物種子の備蓄、緊急運搬、関係者間の連携体制の強化や輸入先国の多様化の検討等の取組を支援することにより、配合飼料等の安定供給を確保し、畜産経営の安定を図ります。

## <事業目標>

○ 不測の事態にあっても、畜産農家へ安定的に配合飼料等を供給すること。

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 飼料穀物備蓄対策

#### ① 飼料穀物備蓄支援事業

配合飼料製造業者等がBCPに基づき実施する飼料穀物の備蓄の取組を支援します。

#### ② 配合飼料緊急運搬事業

緊急時に配合飼料製造業者等がBCPに基づき実施する配合飼料の緊急運搬の取組を支援します。

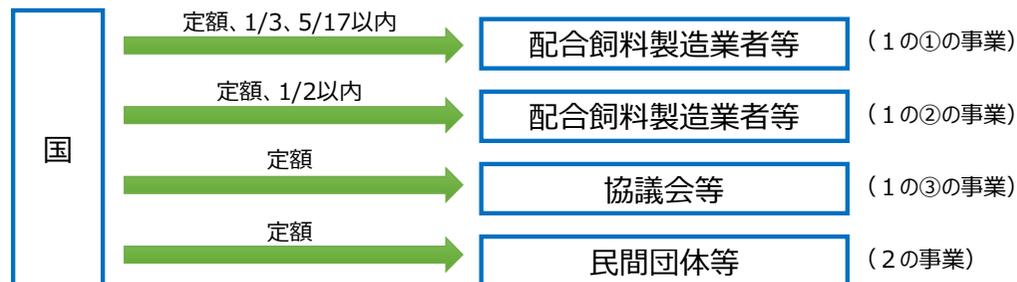
#### ③ 配合飼料安定供給連携支援事業

配合飼料製造業者等の関係者間の連携体制の強化を図るための連絡会議開催や、飼料会社、サイロ会社、畜産関係団体、商社等による海外の供給力に関する検討会開催、主要な輸入先国以外の輸出余力のある生産国の現地調査、飼料原料としての適性試験の取組を支援します。

### 2. 飼料作物種子備蓄対策

民間団体等が不測の事態に備えて行う飼料作物種子の備蓄の取組を支援します。

## <事業の流れ>



### 1. 飼料穀物備蓄対策

#### ○ 飼料穀物の備蓄（定額、1/3、5/17以内）

配合飼料製造業者等が実施する飼料穀物の備蓄の取組に対し、その費用の一部を支援

補助事業者がBCPに基づき、リスクの内容に応じて備蓄を活用

#### <リスク内容の例>



※備蓄する飼料穀物は、とうもろこし、ごりゃん、大麦、小麦、大豆油かす、ふすまの中から民間が選択

#### ○ 配合飼料の緊急運搬（定額、1/2以内）

国内の災害時等に、配合飼料の供給が困難となった地域に対する配合飼料の緊急運搬を図るため、必要な費用の一部を支援



#### ○ 関係者間の連携体制の強化や輸入先国の多様化の検討（定額）

非常時における円滑な対応を図るため、平時における関係者の連携体制の強化や飼料穀物の輸入先国の多様化の検討の取組を支援



### 2. 飼料作物種子備蓄対策

#### ○ 飼料作物種子の備蓄（定額）

民間団体等が実施する飼料作物種子の備蓄の取組に対し、その費用を支援



【お問い合わせ先】 (1の事業) 畜産局飼料課 (03-3591-6745)  
(2の事業) 飼料課 (03-3502-5993)